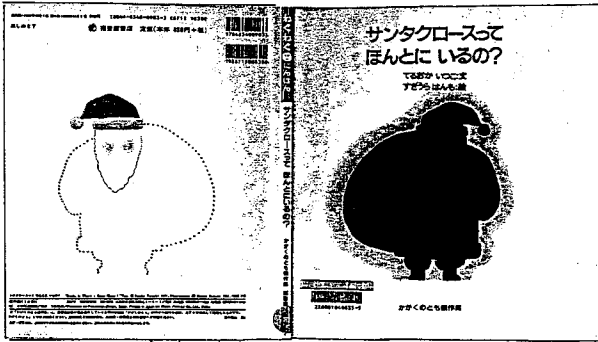


子どもたちといっしょに

クリスマスの季節がやってきました。「サンタクロースがほんとうにいるの?」っていう問いに、本当に丁寧にこたえているのが右の絵本です。経済学者の暁峻淑子(あけしほ)さんが、自分の子どもとの体験話を絵本にしたものです。この他



福音館書店 かぐくのともしほ 傑作集

「サンタクロースがいるんでしょうか?」(偕成社)は、一人の少女がニューヨーク・サン新聞社に出した手紙に、社説をこたえたという、世界的に有名な本です。一度は読んでください。

「急行『北極号』」C.V.オールズバーク絵と文(河出書房新社)光と影の画家 パステルという素材を見事に使った美しい絵本です。これを読んだら、サンタクロースがほんとうにいるかどうかの謎がとけますよ。



12月の行事		ブックバス運行
1 (金)		臼井小 2:30~3:15 臼井中 4:10~4:40
2 (土)	おはなし講習会 おはなし会 3:00~	大通地域C 2:00~3:00 鶴巻 " 3:30~4:30
6 (水)	絵本のじかん 3:00~	大通小 2:45~3:30 榎岸小 4:10~4:40
7 (木)		大橋小 3:00~3:45 榎岸農村公園 4:15~4:45
8 (金)		小林小 2:45~3:30 臼井小 3:45~4:30
9 (土)	おはなしがご宴会 おはなし会 3:00~	新倉畑農村公園 2:00~2:45 ア石公会堂 3:45~4:30
13 (水)	絵本のじかん 3:00~	次留橋小 2:30~3:15 新倉畑中 3:45~4:40
14 (木)		左瀬小 3:00~3:45 左瀬中 4:10~4:40
15 (金)		臼井小 2:30~3:15 臼井中 4:10~4:40
16 (土)	おはなし会(ゲスト) クリスマスおはなし会 3:00~	大通地域C 2:00~3:00 鶴巻 " 3:30~4:30
17 (日)	読書会 1:30~3:30	
20 (水)	絵本のじかん 3:00~	
21 (木)		大橋小 11:30~12:00 榎岸農村公園 4:15~4:40

お知らせ クリスマスおはなし大会



子どもにもおはなにも、いそがしくてたのしい季節がやってきました。  
 \* 図書館では、色々な行事をやっています。  
 \* 行事にたいするご意見、またご参加をお待ちしています。

# しろね図書館だより

発行 白根市立図書館  
平成12年12月 1日

No. 7

ご利用ありがとうございます。年の瀬がやってきました。外は木枯しが吹いていても、温い家の中で、ゆっくり本を読むのも、楽しいひとときです。年末年始の図書館の日程は、以下のとおりです。お間違いのないようにお願いします。

休館は、12月28日(木)……月末休館日  
 " 29日(金)~1月3日(水)……年末年始休館日  
 1月4日(木)、5日(金)……年末年始休館に伴う館内整理休館  
 従って、今年は、12月27日(水)まで  
 新年は、1月6日(土)からの開館となります。

そのため、12月16日(土)~12月27日(水)まで1人16冊貸し出します。  
 貸し出し期間は、3週間(平常は2週間)です。  
 どしどしご利用ください。

11月の  
 来館者 ----- 11,403人 (見学者47人を含む)  
 貸出冊数 ----- 12,259冊  
 予約件数 ----- 197件

ブックバス利用者 --- 385人  
 " 貸出冊数 --- 1,211冊

リクエスト情報

1位・ハリポッターと秘密の部屋 (11人)  
 2位・だからおはなも生えて (8人)  
 3位・命 (7人)  
 4位・ハリポッターと賢者の石 (6人)  
 5位・ああ言えど三行嫁行 (5人)

<おねがい> 悲しい出来事がありました  
 絵で読む「広島原爆」という本の14頁分が、切り取られていました。調べ学習に来た子ども達がその部分が見られなくて、とてもがっかりして帰って行きました。切り取った人は、さっさといいですから、ブックポストへ入れてください。必要なら、コピーを取ってご利用ください

みんなの図書館のみんなの本です。本を大切に!

本・子ども・絵本  
朝の読書希望への一歩  
家庭から広がる朝の読書  
心の教育は朝の読書から  
心を育てる「朝の読書」  
分県登山ガイド  
青年市長  
越後のひと  
子どもの本の現在  
本のれきし5000年  
まんが子ども大百科  
魔女図鑑  
10才のとき  
アマゾン・アマゾン  
手紙で友だち北と南  
河童よ、出てこい  
ミクロの世界  
野山でたのしむ 秋の草花  
ジャポニカ少年博物館  
カバ園長のおもしろカバ日記  
森の小さなアーティスト  
昆虫の観察  
虫こぶはひみつのかくれが?  
ムクドリの子育て日記  
ノラネコの研究  
からだのふしぎじてん  
はしをわたらずはしわたれ  
飛びたかった人たち  
はじめてトランジスタアンプを作る本  
「田んぼの学校」入学編  
「田んぼの学校」入学編  
顔の美術館  
ダイヤの館の冒険  
名馬キャリコ  
不良とよばれたベン  
雪の上のどうぶつえん  
さとうきび  
だれだかわかるかい?  
たらのき  
ぼくはだいくさん  
すてきな三にんぐみ  
ジルベルトとかぜ  
ケイコちゃんごめんね  
なにもなくても  
むぎぼたけ  
だいこんだめんれんこんさんねん  
ゆびあそび  
やまわらし だれや  
コッコさんとあめふり  
いもり  
ぼくはバックン  
ぼくはバックン  
どろあそび  
きたのもりのシマリスくん  
ごてんにすむのはだれ?  
かこさとしのからだだところのえほん  
みんなであうえ  
わたしも  
わたしも  
リルム ラルム パルム  
にやあにやあクリスマス  
マリちゃんのねこふんじやった  
せんせい  
タコのバス  
かぼちゃばたけ  
そこにいるのはだれ?

中川 李枝子 || 著  
大塚 笑子 || 著  
佐藤 愛 || 著  
林 公 || 著  
林 公 || 編著  
三菱ガス化学山岳部 || [ほか]編  
全国青年市長会 || 編  
佐久間 かつえ || 著  
清水 真砂子 || 著  
辻村 益朗 || 作

マルカム バード || 作 絵  
高橋 幸子 || 聞き手  
今森 光彦 || 文 写真  
斎藤 次郎 || 文  
武田 正 || 文  
田中 敬一 || 文 写真  
河野 玉樹 || 文

西山 登志雄 || 著  
今森 光彦 || 文 写真  
旺文社 || 編  
湯川 淳一 || 文  
小野 祥子 || 作  
伊沢 雅子 || 文  
A. マリオン デイビス || 編  
小野 かつお || さく  
佐々木 マキ || 作  
典沢 清吉 || (著)  
宇根 豊 || 文  
宇根 豊 || 文  
タイガー立石 || 文と絵  
マージェリー シャープ || 作  
バージニア リー パートン || え  
ヤン デ ツァンガー || 作  
あべ 弘士 || さく  
石垣 博孝 || さく  
今森 光彦 || ぶん 写真  
日浦 勇 || ぶん  
内田 莉紗子 || 文  
トミー=アングラー || さく  
マリー ホール エッツ || (著)  
奥田 貞子 || 作  
織田 道代 || 作  
アリスン アトリー || 作  
加古 里子 || さく  
笠野 裕一 || さく  
梶山 俊夫 || 作  
片山 健 || さく え  
金尾 恵子 || さく  
かみや しん || さく  
かみや しん || さく  
川上 越子 || さく  
川道 美枝子 || ぶん  
ピアンキ || さく  
かこ さとし || 文  
菊池 日出夫 || さく  
木葉井 悦子 || さく  
木葉井 悦子 || さく  
ミヒヤエル エンデ || 作  
角野 栄子 || 文  
久保田 喜正 || 作 絵  
大場 牧夫 || ぶん  
長 新太 || さく  
片山 令子 || さく  
得田 之久 || さく

大和書房  
メディアバル  
メディアバル  
メディアバル  
教育開発研究所  
山と溪谷社  
河出書房新社  
新潟日報事業社  
大和書房  
福音館書店  
集英社  
金の星社  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
さ・え・ら書房  
小学館  
ポプラ社  
福音館書店  
旺文社  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
岩崎書店  
福音館書店  
福音館書店  
誠文堂新光社  
農村環境整備センター  
農村環境整備センター  
福音館書店  
岩波書店  
岩波書店  
金の星社  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
借成社  
富山房  
ポプラ社  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
富山房  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
農山漁村文化協会  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
人智学出版社  
ポプラ社  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店

お知らせ 第2回読書会



日時・12月17日(日)  
PM 1:30~3:30

取りあげる本は、  
ワジム・フロロフ作  
木村浩 新田道雄訳  
「愛について」(岩波書店)  
ご希望の方は、カウンター  
まで、お申し込み下さい。

ソ連(今のロシア)の14歳の少年ぼくが、  
日々の生活の中で、色々な出来事や人と  
出会い、成長していく様が描かれていま  
す。作者は、私は長いこどもたちに接す  
る仕事をしていた、子供たちのことは相当  
知っているつもりですが、それに対して世  
の中、いわゆる児童文学といわれるもの  
が、どうもきれいなゴトに走って、子供たち  
のありのままの生活を伝えていないと  
痛感していたのです...」と語っているが、  
非常に面白い小説です。



夢 参 想聞たのと かつ内しせ手 安ては切マ想 うかイみ しか 目  
加楽いもくこおも時なた容いて紙参には何れが像イズリん始事たさ今の一  
ししく違こともあ折秀こはスクへ加ななかる見はソラにドめ前 お回読一  
ていんつとをしり 困ととタれ出者りらまだえてド:くをてに さ選書月  
み読だたに話ろま話気もい | ま席はまなとろづきの い旅は図 ば会十  
は会感向?とたテすいと。たきをたのつくの景 いるま館 著た参日  
いにじにてほこが | すし、し、なき。だた?、で、 回男しか の本加に  
か皆まどさかろ、まみて少かといめ ろ意し、一す宗 し女たら っはし行  
がさしんらの。そかま終なししい方三 う見、最が教 のがが本 幽、まわ  
でんだとに人自れらし始い、さか名 なを一後肝観 会交、子、した  
すも、ん自の分もそた、人読さ感+ 言読ま心に 話わ書借 可した  
か気 展分感の読れ。な数書か想一 一わ書でなつ がす頭り、愛修。第  
?軽 展の想感書る ごと会さを枚 とな会読てい、かて 一  
に し感をじ会こ やあのみ奇の なくでみ1て スわら読 であつ 回

読書会に参加して  
藤村 修

世界でたった一冊の絵本ができました。

11月19日(日)「おとなも子どもも楽しい手づくり絵本の会」は23名の参加が  
あり、みんな一生けん命に、世界でたった一冊の絵本を作りました。本来なら  
3日から5日かけて作ったほうがいいのですが、今回は、5時間で作上げたため  
に、創作絵本に取り組む人以外は、「わたし」「ぼく」「わたしのたからもの」  
「ぼくのたからもの」というテーマの中から選んで作っていきました。  
参考にしたのは「わたし」谷川俊太郎ぶん・長新太之の「かかくのとも傑作集」です。  
この絵本は、「わたし おとこのニからみりとおんたのこ あかちゃんからみりとおねえちゃ  
ん、おにいちゃんからみりといもうと」というように、わたしを他から見ると、どうい  
う立場なのかで、自分というものの確立につなげる第一歩に誘われる絵本です。  
どうぞ、皆さんも是非、お子さん、お孫さん、生徒さんに読んでみて下さい。